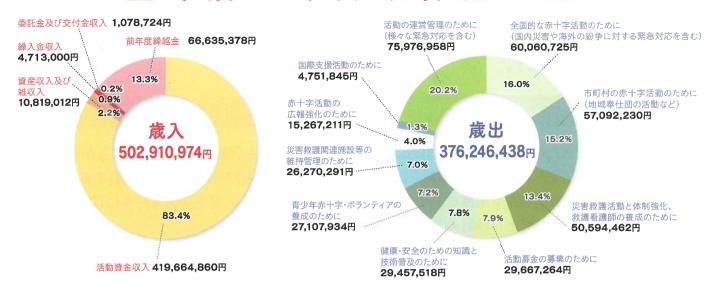
## 平成30年度 決算報告



※令和元年6月19日に開催した当支部評議員会において承認されました。

翌年度繰越額 126,664,536円

※水戸・古河赤十字病院、茨城県赤十字血液センター、日本赤十字社茨城県支部乳児院については、施設ごとの特別会計のため、本決算には含まれておりません。

### インフォメーション 1

インターネットから、クレジットカードを利用して手軽に寄付することができます。

STEP

クレジット寄付ページ

ご協力方法 クレジットカード 赤十字 クレジット 検 索

STEP 2 必要事項のご入力

(申込フォーム)

STEP (3) 手続き完了 (ご寄付)





こちらから

その他、「口座振替による寄付」「遺贈・相続財産の寄付」などもお取り扱いしております。 また、日本赤十字社へのご寄付は、個人・法人ともに、税制上の優遇措置があります。 詳しくは、当支部までお問い合わせください。

☎ 029-241-4516 (組織振興課)

資金の有効活用のため、この受領 証をもって日本赤十字社の受領証にかえさせていただきます。

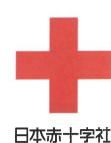
なお、本受領証は、免税証とし て利用いただけます。

払込みいただいた金額は個人に ついては、所得税法第78条第2 項第3号の規定に基づく寄付金 に該当し、法人については、法 人税法第37条第4項に基づく寄 付金に該当します。

〒310-0914 日本赤十字社 茨城県支部 組織振興課 電話 029-241-4516

- ■この用紙は、機械で処理しますの で、金額を記入する際は、枠内には 本票を汚したり、折り曲げたりしな
- ■この用紙は、ATMではご利用いた
- ■この払込書を、ゆうちょ銀行又は 郵便局の渉外員にお預けになるとき は、引換えに預り証を必ずお受け取
- ■この用紙による、払込料金は無料
- ご依頼人様からご提出いただきま こ払込書に記載されたおところ おなまえ等は、加入者様に通知され
- ■この受領証は、払込みの証拠となる ものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。



# 特別号(事業・決算報告及び事業計画)

lbaraki

茨城県支部

Japanese Red Cross Society

## 県民の皆さまからの温かなご支援に深く感謝申し上げます。

ross



## 豪雨・地震災害に対し、医師らを派遣 ~被災者に寄り添った救護活動~

昨年は、7月の西日本豪雨や9月の北海道地震など、日本 各地で災害が発生しました。

日本赤十字社は、これらの災害で被災した方々のいのち と健康を守るため、全社を挙げて救護活動に取り組み、 茨城県支部からも [医療チーム]や [こころのケア調整係] を派遣するなど、被災者に寄り添った活動を実施しました。

日本赤十字社は、皆さまから寄せられる活動資金(寄付) を財源に、救うことを続けています。











#### 発行元

日本赤十字社 茨城県支部 〒310-0914 茨城県水戸市小吹町2551 TEL.029-241-4516 FAX.029-241-4714

# ■ 平成30年度 事業報告 ■

当支部では、平成30年度も「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ために活動しました。 当支部が取り組んだ主な事業をご報告します。

#### ▮ 急病やけがに対する手当等の普及

日常生活における事故防止の方法、急病やけがに対する 手当の方法、健康で安全な生活を営むための正しい知識や 技術などを普及するため、「救急法」「水上安全法」「健康生活 支援講習 | 「幼児安全法 | の4つの講習を開催しています。

平成30年度は、県内各地で実施されたイベント会場に 体験コーナーを設けるなど、救急法などの講習を505回実施 し、約2万人の方に学んでいただきました。



イベントでの救急法講習 (心肺蘇生)



防災訓練での健康生活支援講習 (毛布を使ったガウン作り)

#### 【講習実績】

種別	回数	受講者数
救 急 法	335回	14,310人
水上安全法	49回	1,610人
健康生活支援講習	47回	1,538人
幼児安全法	74回	1,830人
合 計	505回	19,288人

#### 支部創立130周年特別寄付金の募集

1888年に創立した当支部は、昨年130周年を迎え、その 記念として、特別寄付金募集を行い、「災害救護資材の整備」 や「乳児院の施設整備」を行いました。

県民の皆さまから多大なご支援をお寄せいただき深く感 謝申し上げます。



#### 乳児院からのお礼

新しい遊具が設置され子ども たちが毎日夢中で遊んでいます。 遊具や大きくなった砂場で、笑顔 が輝いています。

今後も皆さまとともに、子どもたち の健やかな成長を見守り続けて いきたいと思います。



乳児院 中島保育士



被災地で電源供給が可能な車両



子どもたちの健やかな成長を支える遊具

# ₩ 令和元年度 事業計画 ##

当支部では、頻発化・多様化する自然災害への備えとして、地域の防災・減災意識の更なる向上を図るため、 新たに次の事業に取り組みます。

#### 災害から身を守るための防災教育・防災セミナー

令和元年度は、子どもたちが、自然災害や防災について正しい知識を持ち、危険から身を守ることができるよう、 県内全ての幼稚園・保育所約860園に防災教材を配布し、園児(約86,000人)を対象に「防災教育」を実施します。

また、いざという時に自分自身や家族などのいのちを守ることができるよう、県民の方を対象に「防災セミナー」 を実施し、地域における「自助」と「共助」の力を高めます。



幼稚園・保育所の子どもたちが楽しく学べる防災教材



「まちがいさがし」で身を守る方法を学ぶ子どもたち (大子町立大子幼稚園)

#### 活動資金協力のお願い

「災害救護」や「防災教育」などの赤十字活動は、県民の皆さまから寄せられる活動資金(寄付)によって支え られています。

#### 〈活動資金(寄付)にご協力をお願いします〉

